

# 2012 年度事業報告

## I. 国際協力事業

### 1. モザンビーク海外支援事業

#### 【モザンビークにおける活動】

##### ① 外務省 日本 NGO 連携無償資金協力(N 連)によるプロジェクトの策定

当初、2012 年度第 2 四半期実施を目標に、前年度から引き続き、縫製訓練プロジェクト案の策定作業を行ったが、地方政府との調整、経費の見積もり及び積算が予想以上に手間取り、第 2 四半期終了時点で策定作業を完了できなかった。また、9 月に外務省より、N 連予算抑制のため、審査要件として外交上、並びに人道的な緊急性及び重点課題のカバーが必要との通知があり、策定案が要件を満たしていないことから、2012 年度の申請および実施は見送った。

##### ② 縫製訓練プロジェクト

JICA「NGO 活動支援制度」で現地に派遣した野田昇吾氏により、N 連策定案を改編し、独自事業として 11 月から縫製訓練プロジェクトを開始した。シニャンガニーネにおいて、住民約 30 名を対象に縫製訓練、商品開発、販路開拓、販売を行い、また、マグアーザ孤児院でも元研修員のアデリア氏を中心に縫製訓練、商品作製を行った。本プロジェクトは 2013 年度も継続して実施する。

##### ③ 支援物資の寄贈

モアンバテクニカルスクールへ自転車、文房具の寄贈、モアンバ病院にベッド、医療関係器具の寄贈、プロファミリアに工業用ミシン、ミシンパーツの寄贈、「子供たちのセンター」へ文房具、ミシン、自転車を寄贈、シニャンガニーネクリニックへベッド、看護服、医療関連器具を寄贈、ファーストレディーオフィスへ工業用ミシンを寄贈、サッカーアカデミーへ文房具を寄贈した。

##### ④ マレンガーネ地区内小学校への文具寄贈とドローイングコンテストの実施

マレンガーネ地区 5 校に文房具、パネル、スポーツ用具などを 2 度に分けて配布した。また、配布した文房具を活用し、ドローイングコンテストを開催。それぞれの小学校から作品を回収した(ビジランシア小学校除く)。松山市立新玉小学校がドローイングコンテストの優秀者を選出し、表彰を行った。

##### ⑤ 大洪水緊急支援活動

2013 年 1 月 23 日にモザンビーク南部で発生した大洪水による被災者を支援するため、日本国内において募金活動を行った。寄付金による支援第一弾として 2 月下旬に、米、トウモロコシ粉、砂糖を購入し、当団体モザンビーク事務所を通してモザンビーク赤十字に寄贈を行った。2013 年度も継続して復興期の支援を実施する。

## ⑥ モザンビーク事務所長の交代

2012年12月31日をもって退職する横田美保モザンビーク事務所長の後任として、12月17日にアモッセ・エリアス・シセーレ氏に事務所長業務を委嘱した。

## ⑦ 現地事務所の運営

昨年度に引き続き、ニコラウ・ジュミッセ・ルイス氏をローカルコーディネーターとして雇用し、CCM、政府関係者、支援地域との調整を行った。事務所については、2012年12月まで、金城産業モザンビーク事務所の一室を借用し、現地事務所として利用した。1月以降は、アモッセ氏が経営する会社の一部を事務所として借用している。

## 【日本国内における活動】

### ⑧ モザンビーク平和 20周年記念交流

5月27～28日、ディニス・セングラーネ司教(「銃を鋤へ」プロジェクト創始者)、クリストファー・スプリング氏(大英博物館・アフリカ・オセアニア・アメリカ部門キュレーター)、吉田憲司氏(国立民族学博物館教授)3名の来松時にモザンビーク平和 20周年記念交流として新玉小学校訪問、カフェでの交流会を開催し、市民に当団体の活動を知ってもらう機会を創出した。また、セングラーネ司教が講演する「アフリカ学会記念シンポジウム」への参加協力、武器アート貸出協力を行った。

### ⑨ Panasonic NPO サポートファンド for アフリカ 2013「モザンビークにおけるコミュニティ開発支援事業支援者拡大のためのウェブサイト整備・拡充と広報人材育成事業」

Panasonicより助成を受け、2013年1月から、ウェブサイトを活用した広報活動を効果的に行うことにより、支援者の開拓、拡大を促進し、財源の強化と支援活動の安定化を目指すとともに、スタッフの広報力の向上による広報人材の育成を図っている。(2013年度継続事業)

### ⑩ 車両輸送

愛媛トヨタから4台車両の寄贈を受け、CCM(モザンビークキリスト教評議会)へ2台、当団体現地事務所へ1台の輸送手続きを進めた。

### ⑪ 帰国報告会の開催

2012年12月20日、現地事情、活動報告会をフェアトレードカフェ&雑貨 WAKUWAKU で実施し、支援者への説明、事業の理解促進を図った。

### ⑫ 帰国隊員 NGO 活動支援制度

JICAからの支援で11月1日より3月26日まで、平成24年度「帰国隊員 NGO 活動支援制度」を活用し、野田昇吾氏(モザンビーク青年海外協力隊OV)をインターンとして受け入れ、モザンビークで縫製訓練等の実施、写真や動画を使った教材開発等を行った。

### ⑬ 緊急支援募金

2013年1月23日、豪雨によりモザンビーク南部リンポポ川が氾濫、大洪水が発生し、広大な地域が水に浸かり、15万人の住民が自宅から離れ、避難を強いられた。洪水により、少なくとも38名の死亡が確認されており、避難者は食料や水の支援を待っている状況で、赤十字やモザンビーク政府、NGOなどが支援にあたっているものの、支援が被災者全員には届いていない。当団体では、日本国内で被災者を支援するために2月末まで募金の協力を呼びかけ、集まった募金は、支援第一弾として食料の購入費に充て、当団体モザンビーク事務所を通して赤十字への寄付を行った。

#### ⑭ 募金箱設置

公民館建設支援のための募金箱を愛媛県内の企業・店舗へ設置してもらい、合計 65 店(団体・企業)の協力を得た。

## 2. フェアトレード普及・促進事業

カフェにおけるアフリカ・モザンビーク料理、フェアトレードコーヒー等の安心・安全な食材を使った飲食の提供、商品展示販売によるフェアトレードの理解促進、普及・啓発資料の提供、国際協力・交流に関する質問・相談の対応、視察・ボランティア受入、フェアトレード商品を使った教材開発を行った。主な内容は以下の通りである。

#### ① カフェ運営

営業時間 11 時～18 時(日・祝日を除く)でのサービス提供を行った。メニュー・店内ディスプレイの改善も随時行った。

#### ② イベント企画・出店

国際協力、食に関するイベント企画の実施および会議室として活用した。また、国際協力・NPO 関係のイベントへ出店し、より多くの方へ当団体の活動を知ってもらう機会となった。別紙「2012 年度カフェイベント一覧」参照。また、11 月～3 月にかけて「国際協力×震災復興支援市民参加キャンペーン！」として、フェアトレードのコーヒー・チョコレート、震災支援となるクッキーのギフトセット販売、チャリティーバザーを企画・実施した。

#### ③ ボランティア・視察の受入・相談対応

調理補助・商品ディスプレイ等、ボランティアに関わってもらった。来店者にはフェアトレードや当団体の活動等について随時説明を行い、国際協力・交流に関する質問等に対応した。

#### ④ 広報

ブログ、チラシの作成、店内外展示の充実に努めた。また、普及・啓発のために新聞・雑誌等の取材対応、チラシ・ショップカードの設置依頼、イベント情報の発信を行った。

#### ⑤ フェアトレード教材開発

イベント等において、モザンビーク・マシエネで制作されたバナナ紙を教材にワークショップを実施し、教材開発のための準備・情報収集を行った。

## Ⅱ. 環境保全事業

### 1. 環境省「四国環境パートナーシップオフィス(四国 EPO)」

環境省の委託を受け、2012年4月1日より2013年3月31日まで、四国における環境保全活動と持続可能な地域づくりが、地域の自然・社会・経済の特性を活かしながら、効果的に実施されることを目的に、NPO・行政・企業など様々な主体間の連携・協働をコーディネートすることが四国EPOの役割である。そのために、平成24年度は以下の通り、事業を実施した。

#### ①パートナーシップ促進業務

- ・中間支援組織との連携によるミーティングや事業の協働実施
  - 「環境分野での市民活動支援等に関する意見交換会」開催
  - 「環境NPO・市民団体向け助成金セミナー」開催協力
  - 「地球温暖化防止活動推進センター『コンソーシアム事業』」参加協力
  - HP「四国の環境ホットニュース」によるタイムリーな中間支援組織情報の発信
  - HPでのパートナーシップ事例等の「見える化」
- ・環境省高松事務所との情報・意見交換や事業の協働実施の促進、行政機関による支援情報の受発信
  - 環境省高松事務所との情報・意見交換
  - 環境保全活動に関する事業の協働実施促進等
- ・行政機関による支援情報の受発信
  - 「四国地域エネルギー・温暖化対策推進会議」参加
  - 「四国地区気候情報連絡会」参加
  - 行政機関による環境事業やイベント・募集などの情報の受発信

#### ②地域活性化支援

- ・HPの作成と運用
  - 情報収集(自治体等のHP、メールマガジン、新聞6紙等より)
  - 情報発信(HP600件、ブログ33件、メールマガジン278名・13回など)
  - 団体、人材などリソースのデータベース化(593件 ※計895件)と利活用の促進
- ・資料、書籍及び電子情報等の収集、整備及び提供
- ・意見交換や交流の場としての会議スペース等の提供(四国EPO訪問者数349名、フリースペースの会議利用は17件)
- ・各種相談への対応
  - 相談件数は167件(昨年度比15件増加)
  - 相談の主体:NPO81件(49%)、行政26件(16%)、企業19件(11%)、中間支援組織17件(10%)
  - 相談者の地域内訳:香川43%、徳島19%、愛媛11%、高知6%、四国外21%
  - 要望の割合:広報49件、NPO等(個人を含む)の活動に関する情報39件、協力26件
  - 相談テーマの内訳:環境教育37件、生物多様性21件、3R 20件、資源・エネルギー17件
  - EPOへのコンタクト方法:電話39%、メール35%、来所22%、出張先での相談4%
- ・コーディネート機能の発揮
  - イベント、会議等による情報の受発信(46件)
- ・コーディネート等による活動のサポート

### ③環境教育活動支援

- ・教育関係機関等との情報交換や活動支援
  - － 子ども向け環境読本の送付(四国の全公立小学校へ送付)
  - － 教育関係者へ対する情報の発信(教育研究会や小学校、行政機関等の計14件)
- ・「環境教育等促進法基本方針に対する意見交換会」開催
- ・子ども向け環境学習読本を用いたモデル的実践事例および活用事例の収集
  - － 環境読本活用に関する検討
  - － 環境学習に関する情報収集等(香川県高松市の小学校、徳島県藍住町の小学校など)
  - － 環境読本を活用した活用事例の収集(香川県・愛媛県の小学校)
  - － 環境読本を元にした指導者が活用しやすい資料づくり(授業等で使えるパワーポイントデータ作成)
- ・HPやイベント等での情報提供

### ④事業型環境NPO・社会的企業等の支援

- ・事業型環境NPO・社会的企業に対する情報提供やコーディネート
  - － 事業型による事例の受発信(11件のヒアリング、HPでの情報発信)
- ・「事業型環境NPO・社会的企業 入門講座」開催(四国各県で開催)

### ⑤ESDによる取組強化促進業務

- ・ESD学びあいフォーラム「『持続可能な開発会議(Rio+20)』報告より Rio(リオ)からの学び ～ ESDが果たす役割、持続可能な社会づくりを考える～」開催
- ・ESDセミナー「バス視察ツアー 3Rを考えよう！」開催
- ・HP等での情報提供
  - － ESDに関する情報収集(有識者訪問や関連セミナー参加)
  - － ESDに関する情報発信(HP等での情報提供)

### ⑥政策提言支援

- ・市民、NPO/NGO、企業等による環境政策への情報提供や意見交換の場づくり
  - － 環境政策の企画・提案に向けた情報提供等
  - － 環境政策に関する意見交換の場づくり

### ⑦施設・物品の管理等

- ・オフィス及び備品の適正な管理

### ⑧運営委員会の開催

- ・運営委員会の開催(5月、3月の2回)

### ⑨全国EPOネットワーク

- ・全国EPO連絡会議への参加(6月、11月、2月の3回)
- ・GEOC、他の地方EPO等との連携
  - － ESD関係事業に係る関係機関等との検討
  - － ESD全国学びあいフォーラムへの協力
  - － 地球温暖化防止に関する政策コミュニケーション調査への協力
  - － 環境保全活動に取り組む団体リストの作成
  - － パートナーシップ事例の作成

### ⑩第2期(平成22年度～24年度)の総括(過去3年間での成果・課題の取りまとめ)

## 2. 地球環境基金「平成 24 年度地球環境寄付助成金「リオ+20」関連助成活動成果発表会」

地球環境基金からの助成を受け、1992 年ブラジルのリオデジャネイロで開催された「環境と開発に関する国連会議(以下、地球サミット)」は、気候変動枠組条約や生物多様性条約が締結されるなど、今日における地球環境保全や持続可能な開発に大きな影響を与えた。あれから20年。本年6月、同じ場所で「国連 持続可能な開発会議(通称Rio+20、以下リオ+20)」が開催された。今回の報告会では、リオ+20 の参加者で地域における「持続可能な社会づくり」の実践者に、現地での活動概要、成果と今後の課題を発表してもらい、後半はグループディスカッションで、パネリストと参加者で20年前と20年後の「変化」について話し合う場を設けた。

### 【概要】

日時:11月30日(金)13:20~16:35

場所:松山市総合コミュニティセンター会議室8・9

参加者:32名

## 3. 環境省「持続可能な社会づくりを担う事業型環境 NPO・社会的企業支援活動実証事業基盤整備等業務」

環境省の委託を受け、2012年10月31日より2013年3月21日まで、事業型環境NPO等のビジネス活動を促進していくための調査、情報整理、実践のための支援を行った。事業型実践には、公的資金のみに依存しない資金調達手法および経営ノウハウを習得し、事業活動として経営が成り立つ形にしていくための地域における知見等の情報整理、地域の有識者等との協働、連携等の観点からの支援が必要で、本事業は、こうした取組とそのための知見等を広めることにより、事業型環境NPO等が活動できる基盤を整備していくことを目的とした。

### ①事業型環境 NPO の抽出

行政機関の WEB サイトや県の NPO 担当部署より 4 県で合計 450 件の環境 NPO の「定款」「事業報告書」「収支計算書」「貸借対照表」「財産目録」を可能な限り入手し、各県ごとに整理した。また、活動状況に応じて4種類に分類し、様々な情報を考慮して23団体のヒアリング先を設定した。

### ②知見等の情報整理及び支援

- ・環境 NPO 等へのヒアリングによる情報収集
- ・事業型環境 NPO 等へのヒアリングによる情報収集・現地視察の実施(テーマ:冬季(閑散期)エコツアー等による事業化の可能性に関する意見交換会および現地視察)
- ・具体的支援の実施

事業型の取組を検討している、もしくは既に取り組んでいるが課題等をもつ 3 つの環境 NPO に対し、有識者として、森田桂治氏(独立行政法人中小企業基盤整備機構・経営アドバイザー)と前田眞氏(NPO 法人まちづくり支援えひめ・代表理事)を交えた意見交換の機会を設けた。

### ③実践のための支援体制

- ・事業型環境 NPO として活動するための問題への助言や具体策の提案等の整理
- ・ヒアリング実施団体や現地視察を行った団体のリスト化
- ・事業型の取組実施に向けた具体的なアドバイスのためのサポート体制の構築

### ④所感等の収集

## 4. 大川清掃活動

愛媛県「愛リバーサポーター制度」に登録しており、護国神社前を流れる大川の清掃を5月19日、10月13日に行った。今年度は、春・秋とも、松山商工会議所がCSR(企業の社会的責任)支援の一環として行っている「大川クリーン大作戦」に協力参加する形で大川清掃を実施し、愛媛大学の学生たちや地元住民の方々とも触れ合い、参加者全員が充実した清掃活動を行うことができた。

### Ⅲ. 教育・ネットワーク事業

#### 1. 講師派遣および持続可能な開発のための教育(ESD)普及・促進

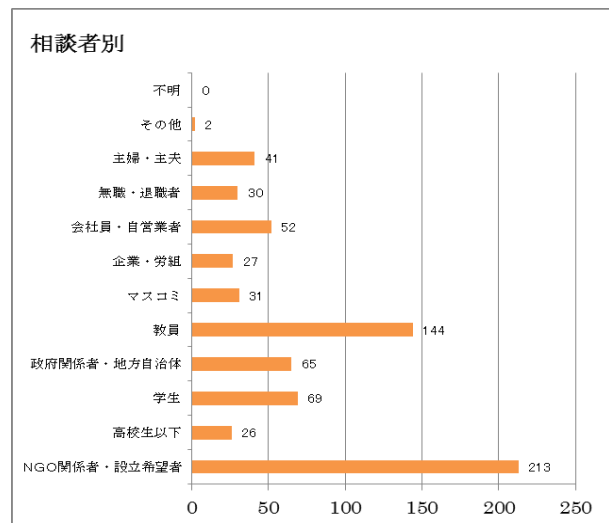
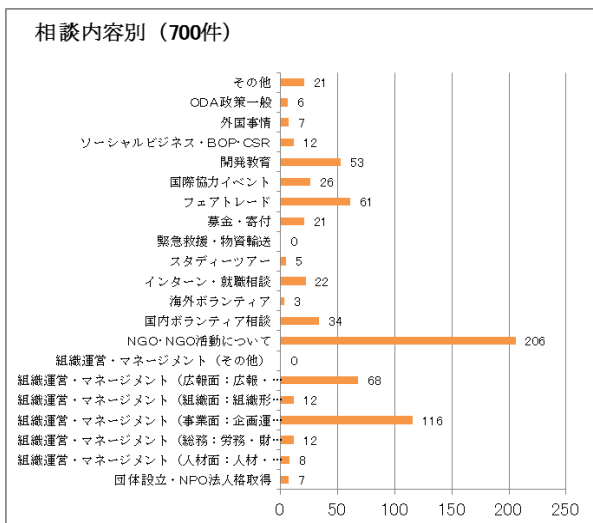
総合的学習(国際理解教育・環境教育・平和教育・人権教育)の講師として、小・中・高校、大学、教員、その他(NPO、企業、研修生等)から派遣依頼を受け、延べ 65 件(平均 5.4 回/月)の講演・ワークショップ等を行った。別紙参照「2012 年度講師派遣一覧」。

##### ①松山国際交流協会ESDコーディネーター派遣制度

学校がNPO/NGO等の市民活動を行う関係者と連携を図るしくみづくりの第一歩として、松山国際交流協会では2011年度からNPOを講師とした「ESD コーディネーター派遣事業」を開始した。この制度を活用し、松山市内の小学校1校(東雲小学校)、中学校1校(鴨川中学校)に打合せ・事業実施・次年度に向けてのふりかえりを行った。学校の予算が不足していても、この派遣制度を活用することで、学校とNPO/NGOの連携が可能となった。

#### 2. 外務省委嘱 NGO 相談員業務

外務省の委嘱を受け、2012 年 4 月 2 日より 2013 年 3 月 29 日まで NGO 相談員としての相談業務に応じている。毎月報告書を提出し、出張サービスを 13 回実施、2 月中に残り 2 件を実施する。1 月末までの相談件数は、合計 700 件、月平均 58 件であった。また、第 1 回(東京)、第 2 回(北海道)「NGO 相談員連絡会議」に出席した。



No.	実施月日	出張サービス依頼元(出張者)	形態	企画概要	主催/場所
1	9月29日	まつやま NPO サポートセンター(林)	相談対応	まつやま NPO サポートセンターが開催している NPO・企業・行政の交流会で相談コーナーを設け、市民からの国際協力に関する質問等に対応した。	愛媛県生活文化センター
2	10月14日	公益財団法人高知県国際交流協会、JICA 四国(林)	相談対応	NGO 相談員ブースを設け、市民からの NGO や国際協力に関する質問等に対応した。	ひろめ市場イベント会場&大橋通商店街
3	10月19日	NGO-JICA 協議会(竹内)	その他(協議会)	国際協力の底上げ及び地域に寄り添った国際協力の実現に向けて NGO-JICA 及び NGO 同士の地域内での協働促進、地域間のネットワーク構築が議論された。	広島経済大学 セミナー・ハウス



4	10月23日	愛媛県立新居浜東高等学校(竹内)	講演・その他(意見交換会)	「国際協力とアフリカ」をテーマに講演し、モザンビークの現状と当団体の国際協力活動を事例に国際協力の必要性や自分に何ができるか考えてもらった。	愛媛県立新居浜東高等学校
5	10月27日	公益財団法人オイスカ四国研修センター(藤野)	講演	「国際協力の世界をのぞいてみよう」という企画で、当団体の活動紹介と「国際」「環境」「食」をテーマとし、「写真で学ぼう!地球の食卓」の教材を使用したワークショップを行った。	公益財団法人オイスカ四国研修センター
6	11月23日	世界の踊りフェスティバル実行委員会(林)	相談対応	NGO相談員ブースを設け、市民からのNGOや国際協力に関する質問等に対応した。	アスティとくしま・徳島県立産業観光交流センター
7	12月22日	まつやま国際交流センター(林)	相談対応	NGO相談員ブースを設け、市民からのNGOや国際協力に関する質問等に対応した。	松山市男女共同参画推進センター
8	1月13日	公益財団法人愛媛県国際交流協会(林)	相談対応	NGO相談員ブースを設け、市民からのNGOや国際協力に関する質問等に対応した。	松山市総合コミュニティセンター
9	1月20日	松山市男女共同参画推進センター(林)	講演	チョコレートをテーマとした「絵本の読み聞かせ」と「ワークショップ」を行うことで、児童労働、世界の現状、ODAや国際協力NGOについて知ってもらった。	松山市男女共同参画推進センター
10	2月8日	愛媛県県民活動推進課(林)	相談対応	企業従業者のボランティアの第一歩を踏み出すきっかけづくりとなることを目的として、NPO・ボランティア活動紹介コーナーを設置して相談に応じた。	株式会社ベネフィット・ワン
11	2月9日	よこはま国際フォーラム2013プロジェクト(竹内)	講演	「アフリカと友だちになる」をテーマに、モザンビークでの活動について講演、バナナペーパーを使ったしおり作りワークショップを実施した。	JICA 横浜
12	2月23日	自主企画	その他(勉強会開催)	外務省等から講師を招き、ODA勉強会を自主企画で実施予定。	フェアトレードカフェ&雑貨 WAKUWAKU
13	2月25日	愛媛県県民活動推進課(竹内)	相談対応	県庁職員のボランティアの第一歩を踏み出すきっかけづくりとなることを目的として、NPO・ボランティア活動紹介コーナーを設置して相談に応じる予定。	愛媛県庁第一別館 ロビー

#### 4. 協働オフィス運営

2012年7月より、第3森ビル1Fの事務スペースを賃貸契約し、「協働オフィス」としてオープンした。現在、NPO法人えひめ311(東日本大震災被災者支援団体)が定期的に使用し、EGNと協働で活用している。

#### 5. 愛媛県NPO等活動基盤強化支援事業

愛媛県社会福祉協議会より委託を受け、平成24年度愛媛県NPO等活動基盤強化支援事業地域貢献活動参加促進事業および情報公開促進支援事業として、愛媛県における「新しい公共」の担い手となる【1】NPO、【2】中小企業、【3】市町社会福祉協議会(以下、社協)、【4】地縁組織(公民館を含む)を対象とし、実態の把握調査とマッチングの可能性調査を行った。最終的な調査内容の取りまとめは、全体で行っており、調査先の情報は、新たに中間支援組織として立ち上がった「NPO法人えひめリソースセンター」のHPで公開することとなった。

#### 6. 日本・モザンビーク市民友好協会事務局運営

当団体に事務局を置く「日本・モザンビーク市民友好協会」として、5月27~28日、ディニス・セングラネノ司教(「銃を鋤へ」プロジェクト創始者)、クリストファー・スプリング氏(大英博物館・アフリカ・オセアニア・アメリカ部門キュレーター)、吉田憲司氏(国立民族学博物館教授)3名の来松時にモザンビーク平和20周年記念交流として、カフェでの交流会を共催した。また、モザンビーク国内において、モザンビーク・日本市民友好協会の設立・構築に関する意見交換を行った。

## 7. 四国 NGO ネットワーク(SNN)事務局運営

SNN 事務局として、会員・会計管理などの総務全般を行い、291 号～310 号のメルマガ配信を行った。愛媛大学/高知大学「四国・国際協力論」(主催:SNN・JICA 四国・4 大学)のコーディネートを担った。また、第 15・16 回四国 NGO 研修、四国 NGO ネットワーク総会、JICA 四国・四国 NGO ネットワーク共催の会議「NGO ラウンドテーブル」に参加した。また、HP 全面リニューアル作業を行った。

## 8. 東日本大震災支援活動

3 月 11 日に発生した東日本大震災への支援活動として、愛媛県内の避難者が設立した「えひめ 311」の運営サポート・アドバイスを行った。また、イベントの企画や出展、ボーイスカウトや人権啓発研究会などを連携して行った。

## 9. コグウェイ四国

4 県それぞれの独自の文化・魅力を持つ四国を自転車旅行のメッカに、自転車で言葉や文化、宗教、思想を超えて世界を繋ぐことを目的とする「第二回コグウェイ四国サイクリングプロジェクト」(10 月 10 日)のゴールイベントの開催に協力した。

## 10. コミレスネットワーク四国

四国内のコミレス実践者がつながるゆるやかなネットワークとして、メーリングリストの管理・運営を行い、全国のコミレスネットワークとの情報受発信を行った。愛媛県内の個人・団体からコミレスの立ち上げについての相談対応、メディアからの実践事例の取材依頼等に対応した。

## 9. 地域国際化ステップアップセミナー in 四国開催

(特活)国際協力 NGO センター(JANIC)、(財)自治体国際化協会(CLAIR、以下クレアという)との連携のもと、本セミナーを通じて、四国の多様なアクターが集い、相互に有機的なつながりが生まれ、次のステップへ踏み出す機会となることを目指して 12 月 7 日に開催した。「国際協力と多文化共生～地域づくりと連携・協働の視点～」をテーマに、四国の自治体、地域国際化協会、NGO/NPO 関係者、その他関心のある方 87 名が集った。(詳細な報告は HP にて掲載している。[www.plaza-clair.jp/plaza/event121207\\_report.html](http://www.plaza-clair.jp/plaza/event121207_report.html))

## IV. 管理運営等

### 1. 組織運営

#### ① 事務局運営・役員体制

事務局運営は、被災者雇用助成金を活用したパートスタッフの増加、JICA 帰国隊員 NGO 活動支援制度支援制度を活用したインターンの受け入れを行った。

役員体制については、理事・監事・顧問が東京、香川、愛媛（松山・西条）、ケニアに在住であることから理事メールを活用し、意見交換を図った。4月17日に理事懇談会、6月3日、2月16日に理事会を開催し、事業内容および組織運営に関する意見交換を図った。2012年度の理事体制は以下の通り、昨年度に引き続き、事業内容・規模に見合った事業担当性の理事体制をとった。

また、3月24日に臨時総会を開催し、大平健二氏と世古一穂氏が退任し、新たに、新居啓司氏（当団体シニアプログラムオフィサー）、堀田学氏（社会保険労務士）が理事として就任した。

役 職	氏 名	現 職
代 表 理 事	竹 内 よ し 子	えひめグローバルネットワーク代表理事
理 事	上 田 稔	上田屋食品有限会社社長、愛媛日露協会副会長保護司
	大 平 健 二	JICA ケニア SMASE プロジェクト専門家
	岡 田 奈 知	翻訳・通訳家
	黒 河 由 佳	自営業（取材・執筆・編集）
	世 古 一 穂	NPO 研修・情報センター代表理事
	藤 山 健	オフィスナチュレ代表
	松 本 啓 文	四国 EPO 所長
	山 田 美 緒	サイクリスト
	監 事	鈴 木 靖 彦
萩 森 一 路		愛媛県社会福祉協議会地域福祉振興班
顧 問	薦 田 伸 夫	弁護士
	藤 本 豊 實	(株)アドバンテック顧問
	菊 池 博 俊	公認会計士

役員総数:11名(理事:9名 監事:2名)、顧問:3名

#### ② 広報

会報は2012年夏号、2013年冬号を発行した。また、会員へのメルマガ配信を21回行った。ホームページ、カフェ・ブログ、モザンビーク・ブログについては、随時更新した。

また、各種メディアの取材に応じ、新聞・テレビにおいてEGNの活動を広く紹介し、NGO活動への理解や参加促進を図った。

#### ③ 当団体活動紹介・掲載

他団体・個人による当団体の活動紹介・掲載記事については、以下の通りである。

### 2. 星岡土地売却処分

遺贈を受けた星岡の土地について、売却処分のための手続きを進めたが、売却できなかった。

## 当団体活動紹介・掲載

No.	発行月	企画／発行元	名称	内容
1	7月	NPO 法人ふうしすてむ	NPO 法人ふうしすてむ通信	フェアトレードカフェ&雑貨 WAKUWAKU メニューの紹介。
2	10月	公益財団法人愛媛県文化振興財団	文化愛媛	「東日本大震災と愛媛「食」から防災を考える」をテーマにえひめ 311、保存食等を紹介。
3	1月	ココロエ愛媛	ココロエ愛媛製作委員会	フェアトレードカフェ&雑貨 WAKUWAKU、NGO活動の紹介。
4	1月	SPC 出版	タウン情報まつやま SWEETS Passport	フェアトレードカフェ&雑貨 WAKUWAKU メニューの紹介。

## 新聞掲載記事

No.	掲載月日	新聞社名	題名	内容
1	4月13日	愛媛新聞	NPO 資金調達 松山でセミナー	まつやま NPO サポートセンター主催の「NPO のための助成金セミナー」講演について紹介。
2	5月22日	愛媛新聞	取材最前線 光と影	NPO 運営の難しさについて紹介。
3	5月29日	読売新聞	「どんな時も話し合いを」モザンビーク人司教小学校で平和講演	セングラーネ司教が新玉小学校で講演したときの様子について紹介。
4	5月29日	愛媛新聞	銃を銃へ平和な世に	セングラーネ司教が新玉小学校で講演したときの様子について紹介。
5	5月29日	松山経済新聞	モザンビーク司教・セングラーネさん来松	セングラーネ司教が新玉小学校で講演したときの様子について紹介。
6	6月5日	毎日新聞	戦争は醜く、平和は安上がり	セングラーネ司教の来松、当団体とモザンビークの交流について紹介。
7	6月28日	愛媛新聞	各国の農業情報交換	愛媛大学国際協力論でのオイスカ四国研修センター研修生との交流事業について紹介。
8	7月17日	松山経済新聞	松山のカフェでマクロビ料理教室	鶴見恵子さんを講師に迎えて開催したマクロビオティック料理教室について紹介。
9	7月18日	愛媛新聞	心の武装解除の貢献	吉田憲司・国立民族博物館教授のインタビューを通して、モザンビークの銃を銃へ平和構築事業と当団体の活動・交流事業について紹介。
10	7月19日	中国新聞	銃器アート平和を発信	吉田憲司・国立民族博物館教授のインタビューを通して、モザンビークの銃を銃へ平和構築事業と当団体の活動・交流事業について紹介。
11	7月24日	四国新聞	心を武装解除するアート	吉田憲司・国立民族博物館教授のインタビューを通して、モザンビークの銃を銃へ平和構築事業と当団体の活動・交流事業について紹介。
12	9月12日	愛媛新聞	味わい買って途上国支援注目！フェアトレード	フェアトレードカフェ&雑貨 WAKUWAKU、NGO活動の紹介。
13	9月25日	愛媛新聞	農産加工「興味深い」	オイスカ四国研修センター研修生の愛媛県内視察研修について紹介。
14	12月8日	愛媛新聞	地域の協働を国外に	地域ステップアップセミナーの基調講演、分科会について紹介。

## V. その他事業

---

### 1. 不動産貸付業

松山市東雲町 5-6 の一部を「まるみ食堂」へ賃貸した。

以上

2012年度 フェアトレードカフェ&雑貨WAKUWAKUイベント一覧

別紙

No.	月	日	曜日	イベント名
1	5	7	月	シャプラニール雑貨展示販売(～20日)
2	6	27	水	オイスカ研修生視察受け入れ
3	7	7	土	オープン3周年記念パーティー
4		13	金	鶴見恵子さんマクロビ料理教室
5		31	火	BOP勉強会・アフレコ
6	9	7	金	安田奈津紀さんを囲む会
7		8	土	新居浜東高等学校地域・国際研究部視察受け入れ
8		19	水	BOP勉強会・青年海外協力隊OV
9		25	火	オイスカ研修生視察受け入れ、インターナショナルパーティー
10	10	26	水	東北メニュー試食パーティー
11		3	水	松山大学川口ゼミ視察受け入れ
12		17	水	BOP勉強会・金城産業
13		27	土	わくわくワールドカフェ・ハロウィンパーティー
14		29	月	ワン・デイ・シェフDawn-peopleライブ
15	11	4	日	トークing with えひめ311
16		8	木	鶴見恵子さんマクロビ料理教室
17		20	火	ESD派遣・東雲小学校チョコレートワークショップ
18	12	20	木	モザンビーク帰国報告会
19		23	日	Y'sワイン会
20		28	金	わくわく望年会
21		20	水	手前味噌教室
22	2	23	土	NGO相談員自主企画・ODA勉強会

2012年度 イベント出店・展示一覧

No.	月	日	曜日	内容	主催	場所
1	5	20	日	ライブアースまつやま2012出店	ライブ・アースまつやま2012実行委員	リフレッシュパーク
2	8	25	水	平和資料展における平和アート展示とESD活動紹介(～31日)	松山市総合コミュニティセンター	松山市
3	9	4	火	地域応援セミナーちゅうよ出店	愛媛県社会福祉協議会	愛媛県社会福祉会館
4		29	土	まつやまリーダーズサミット出店	まつやまNPOサポートセンター	愛媛県生活文化センター
5	10	10	水	コグウェイ四国フェアウエルパーティー出店	EGN	メルパルク松山
6		14	日	NGO相談員出張サービス・国際ふれあいまつり2012出店	公益財団法人高知県国際交流協会、JICA四国	公益財団法人高知県国際交流協会、JICA四国
7		3	土	門前まつり出店	ロープウェイ商店街	ロープウェイ街
8	11	11	日	コープ自然派は～とフェスタ出店	コープ自然派えひめ	コープ自然派事務所
9		11	日	人権文化祭出店	北条・浅海ふれあいセンター	北条ふれあいセンター
10		18	日	わくわく健康応援まつり出店	松山市	松山市保健所
11		23	金	還暦交流集会出店	まつやまNPOサポートセンター	コムズ
12	12	23	金	NGO相談員出張サービス・世界の踊りフェスティバル出店	世界の踊りフェスティバル実行委員会	アスティとくしま・徳島県立産業観光交流センター
13		9	日	人権啓発フェスティバル2012	松山市	松山市総合コミュニティセンター
14		15	土	「国際協力×震災復興支援」市民参加キャンペーン チャリティーバザー	EGN	シダックス三番町クラブ
15	1	13	日	NGO相談員出張サービス・地球人まつりinまつやま・えひめ2013	公益財団法人愛媛県国際交流協会	松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール2
16		31	火	松山市人権教育研究会出店	松山市	松山市総合コミュニティセンター
17	3	20	水	NPO交流会	まつやまNPOサポートセンター	コムズ

2012年度 講師派遣一覧

別紙

No.	月	日	曜日	名称/内容	場所	主催	参加者・対象	対象人数	担当者/同行者	講演種類
1	4	6	金	NPOのための助成金セミナー	コムズ	まつやまNPOサポートセンター	NPO、一般	30	竹内よし子	講演
2		11	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	ガイダンス
3		18	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	コーディネーター
4		20	金	高知大学国際協力論	高知大学	高知大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	80	竹内よし子	講演
5		25	水	平和の語り部・福音小学校	福音小学校	松山市	小学生	111	竹内よし子	講演
6		25	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	コーディネーター
7		8	火	平和の語り部・湯築小学校	湯築小学校	松山市	小学生	91	竹内よし子	講演
8		9	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	コーディネーター
9		16	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	コーディネーター
10		22	火	徳島大学国際協力論	徳島大学	徳島大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	180	竹内よし子	講演
11		23	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	コーディネーター
12		25	金	NPO論	高知工科大学	高知工科大学	大学生	50	竹内よし子	講演
13		25	金	高知大学国際協力論		高知大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	80	竹内よし子	コーディネーター
14		28	月	新玉小学校・総合的な学習	新玉小学校	新玉小学校	小学生	30	竹内よし子、センター教、クリス、吉田、林、宮内、山下、木村	講演
15		30	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	講義
16		4	月	新玉小学校・総合的な学習	新玉小学校	新玉小学校	小学生	30	竹内よし子	講演
17		4	月	今治明德短期大学講演	今治明德短期大学	今治明德短期大学	大学生、留学生	40	竹内よし子	講演
18		6	水	新玉小学校・総合的な学習(環境教育研究会)	新玉小学校	新玉小学校	小学生	30	竹内よし子	講演
19		6	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	講義
20		13	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	林知美	コーディネーター
21		20	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	コーディネーター
22		27	水	オイスカ研修生カフェ視察・講義	フェアトレードカフェ&雑貨WAKUWAKU	オイスカ四国研修センター	研修生	9	竹内よし子	講演
23		27	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	講義
24		3	火	平和の語り部・津田中学校	津田中学校	松山市	中学生	50	竹内よし子	講演
25		4	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	講演
26		11	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	コーディネーター
27		16	月	高知大学国際協力論	高知大学	高知大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	80	竹内よし子	講演
28		18	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	コーディネーター
29		21	土	アフリカ・モザンビークと愛媛のつながり	西条図書館	西条図書館	一般	50	竹内よし子	講演
30		24	火	平成24年度第2回松山市教科等主任会	栗井小学校	松山市教育委員会	教員	55	竹内よし子	講演
31		25	水	愛媛大学国際協力論	愛媛大学	愛媛大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	55	竹内よし子	コーディネーター
32		30	月	平成24年度校区別人権教育懇談会開催事業・多文化共生～人権・国際・教育の視点で考える	松山市役所	松山市人権教育推進協議会	委員、教員	100	竹内よし子	講演
33		31	火	外務省主催平成24年度NGO研究会・BOPビジネスと国際協力:えひめの企業とアフ	愛媛大学	外務省	一般	45	竹内よし子	パネリスト
34		2	木	新玉小学校校内(ESD)研修	新玉小学校	新玉小学校	教員	25	竹内よし子	講演
35		24	水	日本特別活動学会第21回大会	愛媛大学	日本特別活動学会	学会員	50	竹内よし子	パネリスト
36		7	金	平成24年度教育懇談会	エスポワール愛媛文教会館	愛媛県PTA連合会	委員、教員	80	竹内よし子	パネリスト
37		11	火	平成24年度IC・課研講演会	東予高等学校	東予高等学校	高校生	310	竹内よし子	講演
38		15	土	インスパイアジャパン2012(～17日)	大洲青年自然の家	ボーイスカウト愛媛県連盟	学生・一般	45	竹内よし子、野田昇吾、高橋研一郎、阿部静香、君原晴佳、谷村晴香、澤上幸子	コーディネーター
39		25	火	オイスカ研修生カフェ視察・講義	フェアトレードカフェ&雑貨WAKUWAKU	オイスカ四国研修センター	研修生	6	竹内よし子	講演
40		5	金	ESD派遣・新玉小学校	新玉小学校	新玉小学校	小学生	30	竹内よし子	講演
41		12	金	高知大学国際協力論	高知大学	高知大学、四国NGOネットワーク、JICA四国	大学生	80	竹内よし子	講演
42		20	土	ESD派遣・松山東高等学校		松山東高等学校	高校生	5	林知美	ワークショップ
43		21	日	コミュニティカレッジ・モザンビークと愛媛のつながり	愛媛県生涯学習センター	愛媛県生涯学習センター	一般	60	竹内よし子	講演
44		22	月	ESD派遣・新玉小学校	新玉小学校	新玉小学校	小学生	30	竹内よし子、野田昇吾	講演
45		22	月	小野中学校・総合的な学習	小野中学校	小野中学校	中学生	20	竹内よし子、野田昇吾	講演
46		23	火	NGO相談員出張サービス・国際協力とアフリカ	新居浜東高等学校	新居浜東高等学校	高校生	300	竹内よし子、野田昇吾	講演
47		27	土	ESD派遣・松山東高等学校		松山東高等学校	高校生	5	竹内よし子	ワークショップ
48		27	土	NGO相談員出張サービス・オイスカふるさと祭り	オイスカ四国研修センター	オイスカ四国研修センター	学生・一般	20	藤野紀子	講演
49		29	月	小野中学校・総合的な学習		小野中学校	中学生	20	竹内よし子、野田昇吾	講演

2012年度 講師派遣一覧

別紙

No.	月	日	曜日	名称/内容	場所	主催	参加者・対象	対象人数	担当者/同行者	講演種類
50		4	日	コミュニティカレッジ・JICA/SNNの連携と四 国発国際協力		愛媛県生涯学習センター	一般	60	竹内よし子	講演
51		5	月	平和の語り部・浮穴小学校	浮穴小学校	松山市	小学生	101	竹内よし子	講演
52		8	木	ESD派遣・東雲小学校	東雲小学校	東雲小学校	教員	2	林知美	打合せ
53		8	木	ESD派遣・鴨川中学校		鴨川中学校	教員	1	竹内よし子	打合せ
54	11	10	土	高知大学国際協力論	高知大学	高知大学、四国NGOネッ トワーク、JICA四国	大学生	80	竹内よし子	講演
55		16	金	北条北中学校・総合的な学習	北条北中学校	北条北中学校	中学生	500	竹内よし子	講演
56		19	月	教職実践演習Ⅲ	愛媛大学	愛媛大学教育学部	大学生	60	竹内よし子	講演
57		20	火	ESD派遣・東雲小学校	東雲小学校	東雲小学校	小学生、教員、 保護者	13	林知美、木村英理 子	ワークショップ
58		20	火	清水小学校・総合的な学習	清水小学校	松山市	小学生	82	竹内よし子	講演
59		22	木	ESD派遣・鴨川中学校	鴨川中学校	鴨川中学校	中学生	200	竹内よし子	講演
60		27	火	ESD派遣・鴨川中学校		鴨川中学校	教員	1	竹内よし子	講演
61		5	水	途上国の児童労働とフェアトレード	松山大学	松山大学	大学生	14	竹内よし子	講演
62		5	水	ESD派遣・東雲小学校		東雲小学校	小学生、教員	13	林知美	講演
63	12	7	金	地域国際化ステップアップセミナー	コムズ	自治体国際化協会	学生、一般、 市・県職員、 NPO/NGO	87	竹内よし子	コーディネート
64		10	月	ESD派遣・新玉小学校	新玉小学校	新玉小学校	小学生	30	竹内よし子	講演
65		13	木	ESD派遣・東雲小学校		東雲小学校	教員	2	竹内よし子	打合せ
66		21	金	ESD派遣・東雲小学校		東雲小学校	教員	2	竹内よし子	打合せ
67		9	水	香川大学国際協力論	香川大学	高知大学、四国NGOネッ トワーク、JICA四国	大学生	80	竹内よし子	講演
68		20	日	NGO相談員出張サービス・コムズde遊ぼう	コムズ	コムズ	小学生・高校 生・一般	20	林知美、木村英理 子	講演
69	1	29	火	新玉小学校・総合的な学習	新玉小学校	新玉小学校	小学生	30	竹内よし子、野田 昇吾、澤上幸子	講演
		29	火	ESD派遣・新玉小学校	新玉小学校	新玉小学校	小学生	30	竹内よし子	講演
70		30	水	松山市人権教育研究会第5分科会「マイノ リティ(少数者)を考えよう」	松山市総合コミュニ ティセンター	松山市・松山市教育委員 会・松山市人権教育推進 協議会	県・市職員、教 員、NPO/NGO	20	竹内よし子	パネリスト
71	2	3	日	ESD学びあいフォーラム	広島YMCA国際文化 センター	EPOちゅうごく	一般	20	竹内よし子	パネリスト
72		9	土	NGO相談員出張サービス・よこはま国際 フォーラム2013	JICA横浜	よこはま国際フォーラム 2013プロジェクト	一般	25	竹内よし子	講演
73		4	月	ESD派遣・新玉小学校	新玉小学校	新玉小学校	小学生	30	竹内よし子	講演
74	3	7	木	アフリカ・モザンビークと愛媛のつながり	愛媛県立今治病院	愛媛県立今治病院	病院職員	20	竹内よし子	講演
75		13	水	ESD派遣・新玉小学校	新玉小学校	新玉小学校	小学生	30	竹内よし子	講演
76		23	土	国際協力ネットワーク構築づくり	石川県国際交流セン ター(リファーレ)	石川県観光交流局国際 交流課	国際交流団体 職員	18	竹内よし子	講演
合計								4,623		